

【補足資料①】

令和4年5月24日
越前市産業環境部農政課

越前市下中津原町の野外コウノトリのヒナ足環装着までの経緯について

(1) ヒナが誕生したペア

オス：J0161（2017年 兵庫県豊岡市生まれ）

1970年に越前市（旧武生市）に飛来した武生（コウちゃん）のひ孫

メス：J0078（2013年 兵庫県豊岡市生まれ）

2019年福井県坂井市で別のオス（死亡）と繁殖経験あり

(2) 2022年のふ化からヒナの足環装着まで経緯

オス：J0161 2022年2月1日から坂口地区に断続的に飛来。

メス：J0078 2021年12月14日から坂口地区に断続的に飛来。

2022年2月上旬から下中津原町のコウノトリ人工巣塔において、交尾行動、その後巣作りが見られ、繁殖行動が活発になる。3月13日に産卵が始まり、3月15日に本格的抱卵に入ったと推定した。

4月15日 映像により親鳥がヒナに餌を与える吐き出し行動を複数回確認。
ふ化したと推定。

4月21日 ヒナの姿を映像で確認。

(3) 足環装着について

足環を装着するヒナは、生後41日から45日齢とする。この理由として、生後41日程度を経過していなければ、巣立ち後の個体と比較し足の成長が不十分で、適切な径のサイズの足環の装着ができないことが挙げられる。また45日齢を過ぎると身体能力が高まり巣から落下する危険性が高まる。以上のことから、日齢を限定し足環を装着する。